

りべん! 猿沢 11

vol

11

2015.3.15 発行

豊かな環境を守り、みんなの生きがいを生み出す活力ある地域を創る



まちづくり協議会と子供達との関わり

●まちづくり協議会と子供達との関わり	1P
●今年度も色々行いました	
●まちづくり協議会報告	2-3P
●地域の茶の間で今年度行ったこと	3P
●おらだりやねだりの宝もの	4P
●上野集落の活動報告	4P
●ねら、知ってだが〜?	4P
●春のお楽しみ行事	4P
●あとがき	4P

冬休みには一人一人家に持ち帰りました。

名人からは、鮭の表面だけでなく、ヒレや目の部分にも塩が必要ということや、食べるまでには手間と時間がかかることを教えて頂きました。これからも体験事業を通して、地元食文化として鮭に触れる機会をつくり、自然の恵みに感謝する心を育んでいきます。



毎年、猿沢小学校の4年生が挑戦している「鮭の塩引きづくり」。地域に根づく食文化の一つとして、今年度から「猿沢地域まちづくり協議会」で応援することになりました。協議会では、児童に一本ずつの生鮭と塩を用意したほか、地元の「塩引き名人」を講師としてお招きしました。

児童らは「ヌルヌルする〜」「歯がいつぱいあるんだね」など、初めて扱う「生鮭」の感触を戸惑いながら、笑顔の中にも真剣な眼差しで、包丁を使ってヌメリを取り、塩をすり込んでいました。また、来年挑戦する3年生も見学に来ていました。

ひとり一本ずつ。鮭の塩引きづくり

(猿沢小学校4年生)

後日開催された「村上市岩船郡百人一首大会」では、6年生チームが4位に入る健闘を見せました。児童の「記憶力」には本当に驚きです。

猿沢小学校の「小倉百人一首」の暗唱は始まったばかりですが、学校そして地域の伝統として受け継いでもらえると最高です。この児童たちが親になった時に、本当の成果が見えてくるかもしれません。



このカルタは猿沢地域まちづくり協議会がプレゼントしたものです。

みなさんは「小倉百人一首」をいくつ言えますか？

猿沢小学校では、2学期を通して「小倉百人一首」の暗唱に取り組んできました。その成果を発表する場として、「校内百人一首カルタ大会」が開催されました。

試合では、先生やボランティアの皆さんが審判員を務め、校長先生が「上の句」を読み上げると、「はい」と元気に札を取る児童の音が響きました。

集中力を研ぎ澄ませ、真剣な表情で試合に挑む児童。手に汗握る白熱した試合展開には、見ているこちらもドキドキで一杯でした。試合には勝敗が付き物ですが、どのチームも一生懸命な姿がとても印象的でした。



わが集落には幾つかの宝物があるが、最も後世に伝承したいのは、青年教育のための「夜学校」である。その貴重な建物も残念ながら老朽化のため解体の運命にある。

明治十六年、当時の重立ちたちが青年教育の必要性を痛感し「青年倶楽部」を創立、毎年、冬期間を利用して「夜学校」を奨励した。住民も覚醒して益々夜学は隆盛となった。

その後、努力が認められ、県知事及び文部省より表彰を受けるところとなり、これを機に県知事認可の「実業補習学校」設立となった。

明治四十年、校舎が改築され、これが現在の建物である。翌四十一年、夜学校で学んだ青年たちは、これを契機に耕地整理こそが愁眉の急なるを訴え、即決され猿沢村のトップを切って、四十二年見事竣工された。

先人が創始した「夜学校」こそが、耕地整理を始め我が集落の「夜明け」であり礎である。

(佐藤和衛)

青年教育のための夜学校

【鶴渡路】

おらだりやねだりの宝もの

各集落のお宝にスポットを当ててみるコーナー

Bar Shop HALLET



今回ご紹介するのは、猿沢集落の新しい床屋さん『理容室ハレット』です。お店をやっているのは、猿沢の鈴木雄一郎さんで、年齢は二十九歳、新潟理容美容専門学校卒業後、新潟のお店で八年間修業し、学生の頃からの夢だった自分のお店を昨年八月にオープンしました。お店の名前に使っている、「ハレ(HALE)」は、ハワイ語で家という意味を持っていて、お客さんに「自分の家のように」くつろいでもらおうと付けたそうです。平日限定の高齢者割引(七十歳以上の方)や身体の不自由な方の無料送迎も行っています。ぜひ利用してみてください。



営業時間
8時30分〜19時

上野集落の活動報告

冬も「あったかいんだから♪」

1月18日、雪舞う中、上野グラウンドで「どんど焼き」を実施しました。

朝8時に集合、「賽ノ神」を作るための材料調達から始めます。竹やワラを使って仕上げる「賽ノ神」は、高さ約10メートル、組み立てには2時間程度を要します。更に、各家庭で使用したしめ縄やお札などを積み上げていきます。

午後3時、神事を執り行った後、「賽ノ神」に点火します。「パチパチ」と音を立てながら勢いよく火が燃え上がる中、それぞれが竹ざおに刺したスルメや餅をあぶり、アツアツを頬張ります。そして、お神酒やジュースをいただき、今年一年の無病息災、五穀豊穡をお祈りしました。

今年は「豚汁」も振舞われ、とても温かく、賑やかな「どんど焼き」でした。(志田 進)



あとがき



春は旅立ちの季節である。我が家の長男と次男も、就職・進学で首都圏に行くこととなった▼寂しくはなるが、反面さぞ家の中が散らからなくなるだろうという期待もある▼若い時に家を離れ都会暮らしをするのも、長い人生においては良い経験だと思う▼しかし我が子のみならず一人でも多くの若者が、地方の疲弊を食い止める為に、いずれ故郷に戻り地域を支え盛り立ててほしいものだ。(板垣 淳一 寺尾)

発行元・お問い合わせ

■発行 猿沢地域まちづくり協議会

■事務局 〒958-0251 新潟県村上市岩沢5611番地 (村上市朝日支所 地域振興課内)

■連絡先 tel.0254-72-6881 fax.0254-72-0328
MAIL as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

■HP でも活動の様子を公開しております
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/sarusawa/>

春のお楽しみ行事

3月	16日 春の信心よごもり (鶴渡路)
	22日 将棋大会 (上野)
	24日 猿沢小学校 卒業式
	26日 猿沢保育園 卒園式
4月	3日 猿沢保育園 入園式
	6日 猿沢小学校 入学式、朝日中学校 入学式
	13日 虚空蔵様 春の祭礼 (猿沢)
	18日 猿沢地域まちづくり協議会 総会
	19日 観桜会 (上野/川端/猿沢) 桜のライトアップ (寺尾)
	22日 みどりの里 山菜ゲルメの集い
	29日 三叉路の花植え (板屋越)
	集 沢の内に鯉のぼり (寺尾)
5月	3日〜 みどりの里 春まつり(〜6日まで)
	10日 みどりの里 茶会
	30日 猿沢小学校 大運動会
6月	上旬 花植え・登山 (宮ノ下)
	7日 猿沢地区敬老会

集落行事 保育園・小学校行事 まちづくり協議会主催のイベント

地域の茶の間で今年度行ったこと

板屋越の茶の間

月に一回、高齢者を対象に「板屋越の茶の間」を開催しています。みんなで一緒に歌ったり、軽体操をしたりして、お茶菓子を食ながら会話を楽しんでいます。

昨年は4月に「元気太鼓」を楽しみ、5月の「物作り」では、針と糸を使って手ぬぐいを縫い付け、「姉さんかぶり」を作り好評でした。土曜日に開催した6月の「七夕飾り」と9月の「室内運動会」には、集落の小学生に参加してもらい、みなさん大喜びでした。

7月「昔話」、10月「散歩と芋煮会」、11月「ゲーム」、12月「クリスマス会」、2月は「豆まき」を行いました。3月には「ひなまつり」を予定しています。その他にも「保健師さんによる講話」、「誕生会」なども行っています。この日ばかりは、畑仕事を休み、笑い声一杯の茶の間を楽しみに来てくれます。ボランティアのメンバーも、お年寄りの笑顔に癒されています。

これからも、人と人との「つながりの場」として、楽しみながら頑張りたいと思います。

(渡邊 房子
板屋越)



宮ノ下 井戸端の会

「井戸端の会」の発足から、早いもので一年が過ぎました。毎月20日には、宮ノ下のセンターに集まり、みんなで「談笑」しています。また、集落内の各種団体と連携して、様々なイベントに取り組んでいます。

「才の神」の甘酒、子供たちへのお菓子の振る舞いから始まり、夏には長谷川勲さんを迎えて「宮ノ下の歴史と雲上伝説」の講話、秋の農林漁業祭で「宮ノ下の料理を味わう会」、12月には「飯寿司づくり」講習会を開催して、郷土料理の伝承、参加者の親睦・融和を図りました。若い世代への念仏の伝承なども行っています。

この一年を振り返ると、反省することも多々ありますが、これからも互いに支え合い、笑いあえる仲間への「感謝」の気持ちと、人と人との繋がりを大切に、身の丈に合った「笑顔」

の絶えない活動を心掛けていきたいと思えます。

(高橋 初子
宮ノ下)



交流事業部

部会長 横山 充彦

交流事業部会では、メイン事業として「第3回猿沢地域盆おどり大会」を行いました。

開催にあたり、各集落の区長はじめ、集落公民館の方々、お隣りを担当していただいた猿沢・桧原の皆様から、本当に心強い、大きなお力添えをいただきました。心より感謝する次第です。

今年は、小学生も気軽に参加できるようにと、小学校を会場に「盆踊り講習会」を開催させていただきました。お陰様で老若男女、500名を超える参加があり、住民、そして帰省中の方々ととの交流の場になったと思っております。

その他、産業開発部会が担当した「そば打ち体験」の際には、スタッフとして協力させていただき、打ちたての美味しい蕎麦を食べてもらい、参加者と交流を深めました。



歴史環境部会

部会長 大滝 正司

猿沢地域資源調査事業では、6月に「鶉渡路集落ウォーキング」を行いました。いわゆる「まちあるき」です。午前中は、集落案内人の説明を受けながら神社、仏閣、石碑など、実際に自分の足で歩き、自分の目で見て回りました。先人が残した功績や、歴史を感じることが出来ました。午後からは、参加者全員で「集落マップ」を作りました。この活動を通じて、多くの人に猿沢地域を知ってもらい、地域の宝物を後世に残してもらいたいと思います。

10月の「猿沢地域一斉クリーン作戦」では、集落ごとではありますが、地域一斉に花壇整備やゴミ拾いなど、それぞれ美化活動を行いました。環境に対する意識を高めると共に、誰でも気軽に参加できる交流の場として、これからも未永く継続していきたいと考えています。

いずれもの事業も3年目になりますが、地域の恒例行事として定着させていきたいと思えます。



まちづくり推進部会

部会長 板垣 淳一

「まちづくり推進部会」で今年度実施した活動は以下のとおりです。

広報紙「リーどご!猿沢(さざわ)」は、今回号を入れて4号発行しました。毎回、各部会の活動模様・集落の公民館や茶の間の活動などを掲載、また10号からは新コーナー「ねら、知ってだごー?」で、話題のお店を紹介しています。

集落活性化支援事業の助成では、集落ごとの事業数を無制限にし、事業費の2/3を助成すること、また申請書も簡素化したことで14件の申請を受け付け、審査の結果全件に交付しました。

朝日駅伝に参加した4チームに対し、事前練習と大会当日のサポートを行いました。また練習の一環として、チャリティ駅伝を初めて実施しました。

以上、皆さんの協力を得て当初の計画通り活動を行うことができました。



健康福祉部会

部会長 大滝 克哉

今年度も「あいさつ+1(プラスワン)運動」を実施し、3年目となりました。

毎月11日に猿沢小学校を訪れて、登校してくる児童と交わす「朝のあいさつ」に言葉を添えたり、ハイタッチしたりして、更にコミュニケーションを深めました。また、村上市の告知端末(TV電話)を利用して、日曜日と水曜日の朝に「あいさつの大切さ」を地域へ呼びかけました。小学校PTAの皆様との連携により「救急法講習会」もお手伝いさせていただきました。

その他にも、皆様から応募いただいた「あいさつ標語」の作品展示、「地域の茶の間」の連携会議などにも着手いたしました。

私達の取り組みは、すぐに成果が出るものではなく、未熟な面もたくさんありますが、焦らずじっくりと推進していきたいと思えます。



猿沢地域まちづくり協議会

今年度も色々行いました!

まちづくり、この一年

猿沢地域まちづくり協議会 会長 太田 厚生

地域の皆様には、日頃より「猿沢地域のまちづくり」に対して興味、関心を持っていただき、本当にありがとうございます。また、事業の実施・運営に際しまして、多くの方からのご協力、ご参加いただいていることに、役員一同、心より感謝いたします。

平成26年度は「猿沢地域から笑顔と元気を届けよう」を合言葉に、「専門部会」による事業を展開して、地域活性化に向けて取り組んでまいりました。詳しくは、本紙にて紹介させていただいております。平成27年度も、更に趣向を凝らして取り組んでいきたいと思えます。

待ち望んでいた日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろばIC」以北の着工が目前に迫ってまいりました。猿沢地域は、今まで以上に交流の輪を広げ、賑わいをもたらす「チャンス」と考えております。時代を生きる私達はもちろん、かけがえのない家族、そして地域の将来を担う若者のために、「ここに住んでいて良かった」と思えるような「まちづくり」を目指して参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

産業開発部会

部会長 佐藤 倉一

産業開発部会では、昨年度に引き続き「そばづくり体験」に取り組みました。

8月の種まき、10月の収穫イベントは天候に恵まれ、多くの方に参加していただきました。今年度は、作付面積を約2倍に増やして、10アールの畑に10キログラムの種を播き、収穫量も45キログラムに増えました。

12月の「そば打ち体験」では、自分で打った「手打ちそば」を堪能していただいたほか、産業開発部会で考案した「そば粉クレープ」も提供させていただき、大好評でした。

畑の地主さん、参加者のみなさん、そば打ちの講師の方には、本当に感謝しております。

来年度も、「農業体験」を通して、地域の魅力と元気を発信しつつ、交流の機会を提供していきたいと思えます。地域の皆様のご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。

